



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

Okinawa Association of Social Workers in Health Services

MSW ニュース No.131 (5-6月) 号

発行：沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 広報部
編集：崎濱 智子（医療法人琉心会 勝山病院）
事務局：沖縄県総合福祉センター 西棟 2階 小規模団体室
〒903-8603 那覇市首里石嶺 4丁目 373-1
TEL ; 090-3790-2756 FAX ; 098-893-1221
Eメール ; jim.msw.oaswhs@gmail.com

回覧などの際はプリントアウトなどしてください

目次

- ・研修報告.....p2
- ・実習生受入報告.....p2
- ・トピックス（琉球新報「福祉の窓」掲載済記事）.....p3
- ・各部会からのお知らせ.....p4～9
- ・理事会議事録.....p10

< 休載 >

- ・入退院支援連携デザイン事業報告
- ・自主勉強会報告
- ・新入会員紹介
- ・ゆたしく うにげ～さびら

研修報告

第 11 回沖縄県ソーシャルワーク学会参加報告

沖縄協同病院 地域連携課 稲福北斗

2月18日第11回沖縄県ソーシャルワーク学会へ参加し事例検討の発表をさせていただきました。私は「どうしたら癌終末期患者・家族へ適切な意思決定支援が出来るのか」をテーマに発表を行いました。

普段、日々の業務でケースを振り返ることができていませんでしたが、自身のケースを振り返るきっかけとなりました。事例を通し私自身の支援について分析することができ、先輩MSWからも多くのアドバイスをいただいたことで支援の向上につながったと思います。

また、今回他団体からも事例検討の発表があり所属が違っても同じ社会福祉士として同様な悩みを抱えているのだと感じました。

今回私自身、社会資源の情報や面接技術も不足していることも知ることができたため、技術や知識を深め、定期的にモニタリングを行うことでMSWとして支援の向上に努めていきたいと思えます。

実習生受入報告

「ソーシャルワーク実習Ⅰ 実習指導報告」

与那原中央病院 池間 俊

去った2月13日から2月22日までの間(8日間)にソーシャルワーク実習Ⅰの学生を当院で受け入れました。

今回の実習は養成校での新カリキュラムが始まってから初めての实習。「地域共生社会」の実現が政策として掲げられたことで地域における生活課題への対応を担う専門職である社会福祉士に関しても実践力の向上や能力の発揮などが求められ養成の内容(カリキュラム)も見直し。従来の「相談援助実習」から「ソーシャルワーク実習」へと名称変更され、実習時間も180時間から240時間に増え、2ヶ所以上の事業所や相談機関で実習を受けることが必須となりました。

恥ずかしながら当院ではこれまでに実習の受け入れは数える程度で実習指導の体制が充実しているとはとても言い難い。しかもこれまでの学生はMSWを希望して実習に来ていたが、希望する分野ではない実習先に来る学生はどんな感じなのか…より実践力を高めることが求められている新カリキュラムの実習は不安が大きかった。しかし実習が始まってしまえば、そう言っていられない。なるべくMSWの魅力が伝えられるよう頑張ろうと思直し指導にあたる

ことに。日程の前半はスタッフ間のミーティングを見学してもらい、「多職種連携」の実際やその意義、MSWと他の職種の役割やどのような連携の下で退院支援が行われていくかというプロセスを出来るだけリアルな現場体験を通して理解が深められるように努め、後半にかけては実際に患者さんとのコミュニケーションを取ってもらい会話の中からストレンクスを見つける作業を行い、アセスメント～支援計画を作成した。学生は医療現場でカンファレンスやミーティングで他の職種とのやり取りや病院での支援(ソーシャルワーク)を体験し、知識不足は否めないものだった8日間の実習でも十分な成長を感じることができた。また、積極的に実習に取り組む学生の姿は指導者にも大きな刺激を与え成長させてくれた。

迎えた実習最終日、あれもこれも教えていない…という自身の反省がありつつも学生から「MSWの仕事がこんなに大変だとは知らなかった。でも、大変な中でも多職種と連携を図りソーシャルワークをしているMSWの姿をみてやりがいを感じた」という言葉があったことでMSWの魅力の少しは伝えることができたのかなと安堵したと同時に指導者側の努力ももっと必要だなあと感じた実習でした。

トピックス

琉球新報 福祉の窓 2023年4月1日掲載済
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 大城 将平

<質問>

長年膝痛で悩んでいたところ、医師から人工膝関節置換術を勧められました。手術に加え1・2カ月のリハビリが必要となるようです。経済的な相談をした際に更生医療の話を伺いました。どのような制度なのでしょう？

<答え>

膝の痛みは日常生活に支障をきたし、生活範囲の縮小や高齢者では寝たきりの原因にも成り得ます。人工膝関節置換術は保険適応ですが、入院での手術や退院後のリハビリ等が必要とされますので、医療費の心配もあるかと存じます。

更生医療とは、その障害を除去・軽減する手術等によって効果が得られるものに対して必要な医療費の支給を行う制度です。

対象者は身体障害者福祉法4条に規定する身体障害者になり、該当する手術部位と同じ傷病名の身体障害者手帳を所持した方になります。申請窓口は市町村で、身体障害者手帳と指定医による意見書などの書類を持参の上、事前の申請が必要となります。

1か月の医療費の自己負担限度額は、生活保護受給者は負担なし、市町村民税が非課税で本人収入が80万円未満の方は2,500円、市町村民税が非課税で本人収入が80万円以上

の方は 5,000 円、市町村民税が 20 万円未満の場合は医療保険の自己負担限度額、市町村民税が 20 万円以上の課税の場合は対象外となります。尚、差額ベッド代や食費代・病衣代など医療費以外は自己負担となります。

身体障害者手帳の取得が必要になること、課税状況によって医療費の負担額が変わること、また更生医療は指定医療機関のみで適応になりますので、手術を行う医療機関や市町村窓口へお問い合わせください。

各部会からのお知らせ

【 研修部 】

研修部たより

■ 自主勉強会「事例研究について学ぶ ～実践を理論的に見る～」

対象	会員のみ
日時	2023年5月下旬予定 19時～ ZOOM
参加方法	事前申込.
参加費	会員無料
備考	協会ホームページ「研修案内」に掲載
問い合わせ	沖縄国際大学 樋口 ・ 大浜第一病院 嘉手納(098-866-5171)

■ 自主勉強会・めだかのホームルーム

対象	対象者: おおむね実務経験4年以上
日時	2023年5月9日(火) 18:30～ ZOOM
参加方法	事前に下記までお問い合わせください
内容	事例検討
備考	奇数月の第二火曜日開催
問い合わせ	とよみ生協病院 兼濱(098-850-7955)

■ 自主勉強会・めだかの学校

対象	対象者: おおむね実務経験3年以下
日時	2023年 6月7日(水) or 6月14日(水) 19:00～ ZOOM
参加方法	事前に下記までお問合せください
内容	自主勉強会
問い合わせ	大浜第二病院 謝敷(098-853-0103)

🌸 その他

九州医療ソーシャルワーカー協会教育研修部公式 BLOG

「医療ソーシャルワークサプリア from 九州医療ソーシャルワーカー協議会」更新中！

こちらの QR コードからご覧になることができます



【 広報部 】

・新企画検討中 アイデアも随時募集中!!

・「**ゆたしく うにげ～さびら**」(自施設、部署など紹介コーナー)では、
会員所属の病院、施設の魅力を絶賛掲載中!!

掲載希望の方は事務局 Eメールでご連絡ください！

【 社会活動部 】

■フィールドワーク in 広島ーヒロシマ・ソーシャルワークにふれて、平和を考えるー
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会主催

『フィールドワーク in 広島』

ー ヒロシマ・ソーシャルワークにふれて、平和を考える ー

MSW の皆さんは生命と生活の支援に日々奮闘しています。倫理綱領にある平和の擁護と社会正義、人権擁護、多様性の尊重を基盤としつつ、戦争経験地域として民族固有の知も実践に活かしています。

1945 年の沖縄戦では約 20 万人の犠牲があり、現代の恒久平和へと伝承されています。同じような境遇に 8 月 6 日の「広島原爆の日」があり、平和や生命、医療や福祉について考える機会があります。

フィールドワークを通してヒロシマの地域と歴史と一緒に学習してみませんか？
皆さんのご参加をお待ちしています。

日時：2023 年 8 月 5 日（土）～8 月 6 日（日） *1泊2日～

場所：広島駅周辺、および廿日市市（はつかいちし）

対象者：会員のみ

参加費：なし

*航空券や宿泊費などはすべて実費となります。約 5 万円～

*飛行機の手配(那覇 ⇄ 福岡+新幹線・広島行き)は 8/4(金)をおススメします。

事前申込制：グーグルフォーム（作成でき次第掲載）

申込み〆切：5月31日(水)、および 6月30日(金)

行程表（予定）

8月5日(土)

時間	場所	内容
12:00	宮島駅	集合場所
12:30～	宮島・厳島神社	世界遺産を散策する
16:30	村上須賀子 先生による 講話	ヒロシマ・ソーシャルワークについて学ぶ
18:00	夕食会	広島駅周辺、または廿日市周辺

8月6日(日)

7:30	原爆ドーム前駅	集合場所
8:00～	平和記念公園・資料館	平和について考える
14:00～	広島駅周辺、フリータイム	呉(片道 1 時間)、尾道(2 時間)など自由行動
16:00	解散	

担当・お問い合わせ

嘉手納泉也(大浜第一病院)、島袋究(中部協同病院)、宮城幸之佑(中頭病院)

TEL:098-866-5171 E-mail:m_kadena@ns.omotokai.jp

お知らせ

1. 申し込みをお考えの方へ

・現地集合、現地解散です。航空券は各自手配となります。

・宿泊は桑原旅館の予定ですが、各自で手配頂いて構いません。

・一度、事前学習会があります(協会ホームページに掲載し、ZOOMで行います)。

・自己都合によるキャンセルや出費についての補償は一切ありません。ご了承ください。

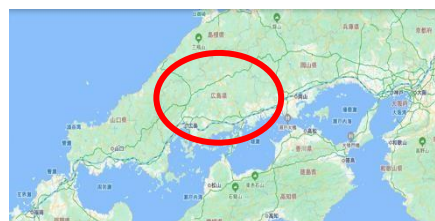
・内容は当日までに変わる場合があります。

2. 大まかな内容(企画中)

① 原爆ドーム、平和記念公園を訪れます。

② 村上須賀子先生(日本医療ソーシャルワーク研究会代表)による講話があります。

③ 宮島、厳島神社(いつくしま)を散策します。



3. 航空券について

手配ルートは以下の2つがあります。

- ①那覇 ⇄ 広島(ANA 1便のみ:行き 16時発、帰り 11時発、フライト約2時間+広島駅まで1時間)
- ②那覇 ⇄ 福岡(複数便あり)⇄ 広島駅(新幹線で片道 9,000 円～ 計4時間)

4. その他

- ・申込者には個別でやりとりを行います。
- ・協会会員へのフィードバックとして、9月に協会 NEWS への投稿や報告会の場を設ける予定です。

参考文献

- 原爆被害者相談員の会編著(2019)「ヒロシマのソーシャルワーク 不条理の是正という本質に迫る」かもがわ出版
- 村上須賀子(2015)「変化を生み出すソーシャルワーク ヒロシマ MSW の生活史から」大学教育出版

■MSW 協会 懇親会 —みなさん、はじめまして。そして、お久しぶりです。—

日時	2023 年 7 月～9 月。金曜日または土曜日の 19～22 時
場所	中部または南部地区の飲食店
対象者	会員のみ
内容 (検討)	あいさつ、自己紹介、フリートークと飲食。 ○会員メンバーと交流する。MSW 協会活動および各機関の業務内容や特徴について知る。
参加費	1 年未満:500 円、2～3 年未満:2,000 円、10 年未満:2,500 円 10 年以上:参加人数により決定
申込み	事前申込制(予約・席確保の関係上)
備考	開催日時・場所の要望についてアンケートを行います。5 月以降にホームページへ掲載します。 *実施については感染症の拡大状況により判断します。
担当	嘉手納泉也(大浜第一病院)、島袋究(中部協同病院)、宮城幸之佑(中頭病院) TEL:098-866-5171 E-mail:m_kadena@ns.omotokai.jp

理事会議事録

4月理事会報告

2023年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2023年4月17日(月)19:00～20:00

場所: 沖縄県総合福祉センター

リモート併用(Zoom)

※リモート開催の場合は18:30～

【出席者】新垣哲治会長、當銘由香副会長、秦克之副会長(司会)、安慶真樹名副会長、伊禮智則事務局長、樋口美智子、香村真範、長原野(連絡)、池間俊、大城将平、宮城郁美、オブザーバー:宮城幸之祐(書記)、高澤信哉、玉那覇夏汀

【委任者】高江洲アヤ子、奥平藤也、大嶺洋

<各部報告・協議事項>

【研修部】以下の報告を受けました。

□研修部活動報告

- ①令和5年度 初任者研修 担当:玉那覇、大久保、兼濱、渡嘉敷
開催日:7/9(日), 7/23(日), 8/20(日)、9/10(日) 初任者オリエンテーション 6/24
(土)午後 申しこみ締め切り日:6/26(月)申し込み方法:グーグルフォーム
- ②中堅者研修 担当:未定 時期:未定 内容:未定
- ③めだかの放課後:中堅者が行う研修会(事例研究等)とする
 - ・新設自主勉強会『事例研究について学ぶ実践を理論的に振り返ろう!』
次回 5月下旬 木曜日 19時～
問い合わせ先:沖縄国際大学/樋口、大浜第一病院/嘉手納
 - ・めだかのホームルーム 担当:兼濱
第6回 3月14日(火)18時30分～ ZOOM 開催 次年度計画
次回 5月9日(火) 18時30分～ ZOOM 開催
 - ・めだかの学校 担当:謝敷・安慶名
第1回 4月5日(水)18時30分～ZOOM開催 今年度計画
2ヶ月毎の開催で、前年度開催できなかったテーマを基に企画予定。
- ④九州協議会関連事業 担当:香村
 - ・福岡医療ソーシャルワーカー協会 中堅者研修
2022年2月26日(日)13時～17時 リモート開催
テーマ「キャリアラダーについて」木川先生(北海道協会)

九州版ラダーの活用していくために、北海道のキャリアラダーについて学ぶ。
九州教育研修部 しばらくはオンライン 九州会長会で協議会開催方法を検討

⑤令和5年 定期総会

- ・事業報告書、計画案の報告を受けました。
- ・総会当日の勉強会 2023年5月25日(木) 13時～15時30分
テーマ:「LGBTQ について考えよう」
講師: 東京通信大学人間福祉学部 専任講師 加藤慶先生

〔広報部〕 以下の報告を受けました。

- MSW ニュース No.131(5・6月号)編集:崎濱さん(勝山病院)05/01 発行
- 協会公式 LINE 加入者数:138名(-2名)
- 公式ホームページアクセス数:1,371件(前月比 -1,160件)
- MSW ニュースに寄稿できる記事・会員の確認

〔社会活動部〕 以下の報告を受けました。

- 福祉の窓 担当病院 沖縄リハ 原稿提出日4月26日(水) 掲載日4月29日(土)
- 懇親会について

〔事務局〕 以下の報告を受けました。

- 入退会報告 入会届 : 1人、所属先変更: 0人、退会届 : 1人
- インボイス制度について
10月までに申請必要。9月までに委託事業先の意向踏まえ申請可否を検討します。
- 協会資料の保管期限について
研修案内は破棄し、公文書や協会からの講師派遣など、議事録があれば5年で廃棄。
登記の実績に残る物は一定の期間残す。
保管方法として、大学の図書館などに寄付検討します。
- 協会費未納者の報告を
- 今年度追加予算について
- 渉外活動 協会宛の依頼を纏め作成

<その他 報告協議事項>

- 沖縄県入退院支援連携デザイン事業
- 沖縄県理学療法士協会「アドバイザー事業」

※次回理事会 2023年 5月15日(月)19:00～ ※ハイブリッド形式で開催

司会:新垣 書記:伊禮 連絡:奥平

議事録署名人 新垣 哲治

☆ 編集後記 ☆

新年度に突入し、緊張気味の新入職員を迎えるにあたり、身も心もシャキッとしなければと引き締めつつ、笑顔を中心掛けているところです。「MSW ニュース」も新たなコーナーが加わり、新様式で配信となります。季節は心地よい春先から、蒸し暑くなる梅雨期を乗り越えられるよう、皆様も体調万全に整え、リフレッシュできる機会が多くなりますことを願っています。

MSW 協会 公式 LINE 加入のご案内

協会名を検索して「友だち追加」で完了！



<https://www.msw-oaswhs.jp/>



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

Okinawa Association of Social Workers in Health Services